平成22年版

まんがで読む防衛白書

～ハイチにおける国際平和協力活動～

防衛省
MINISTRY OF DEFENSE

もくじ CONTENTS

第1章 プロローグ
～ハイチからの手紙～ …… 02

第2章 2010年1月13日（日本時間）、
ハイチ大地震発生 …… 12

第3章 日本からハイチへ
～第1次要員の派遣～ …… 20

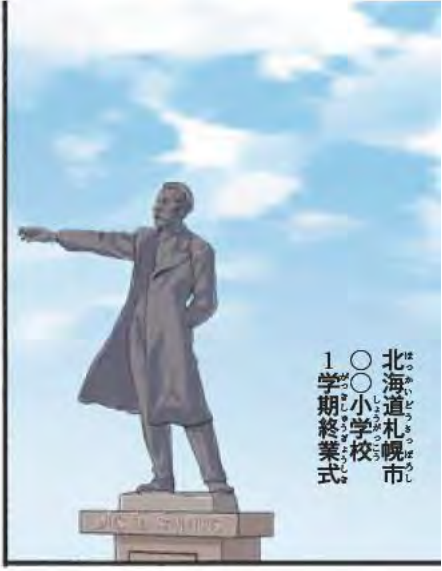
第4章 「みんな元気です。」
～第2次要員の派遣～ …… 30

第5章 みんなの笑顔は世界中に
守られている …… 46

第6章 日本を守る、世界をつなぐ
～「まもるお仕事」～ …… 62

第7章 エピローグ
～いつか、また会えることを夢見て～ … 76

第1章 プロローグ ～ハイチからの手紙～



小林さーん
郵便で～す
はーい
あら……珍しいわ
わたるに
手紙なんて……
！
キーンコーン
カーンコーン
ただいま～
お帰りなさい！
いいものが届いているわよ！
いいもの？

兄貴からの手紙だ！

なんだかいっぱい入ってるっ

小林 ひろき

メールで送ってくれればいいのにね

ぴりぴり

わたる元気か？

わたるへ

俺は元気だ

この間のインターネット通信は楽しかったな

あれからちゃんとハイチの場所は調べたか？俺がいる場所くらいわからないと情けないぞ

こっちの生活には慣れたけど
やらなくちゃいけないことが
まだまだたくさんある

大変なことのほうが多いけど
すごい充実しているよ

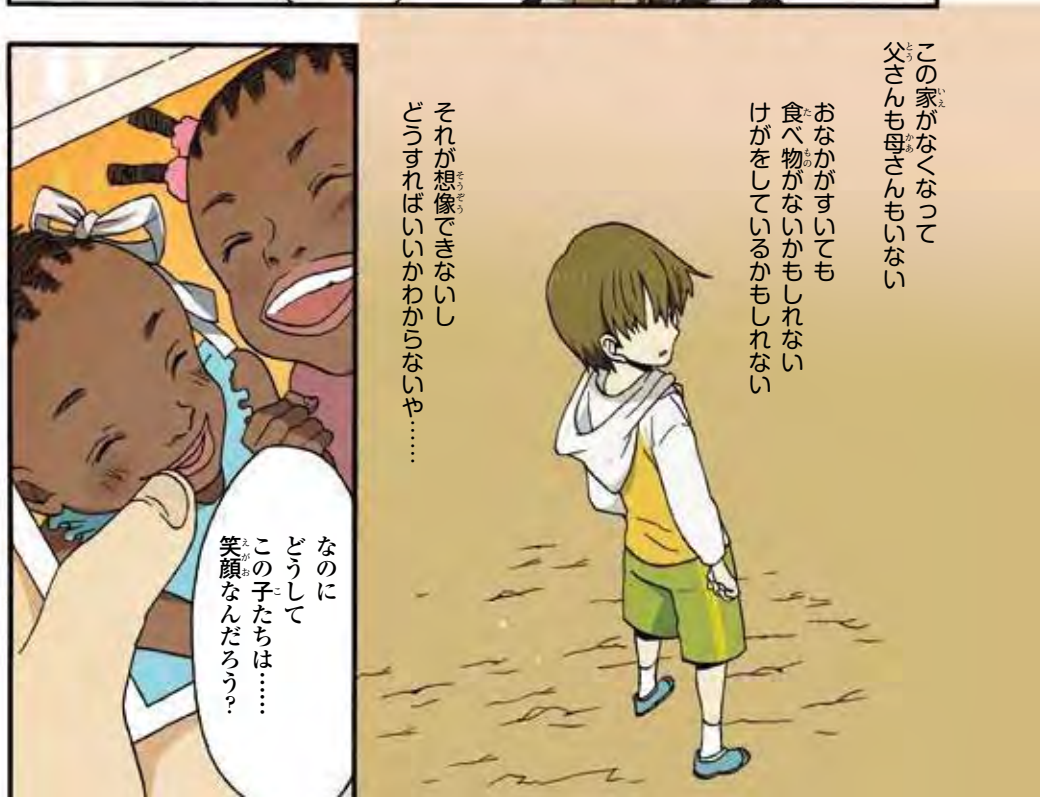
みんなの笑顔を
見ると

もっと
がんばらなければと
思う

兄貴
大変なんだね
でも
写真は楽しそう
あら
ハイチの子たちが
お習字しているわ
みんな笑顔ね
こっちは
けん玉やってるよ
兄貴
ちゃっかりピースしてるし

ハイチの子たちは本当にたくさんのものを失ったわ
ぼくがもしこの子たちと同じ境遇だったらどうするかな？

どうする？


この家がなくなって父さんも母さんもいない
おなかがすいても食べ物がないかもしれないけがをしているかもしれない
それが想像できないしどうすればいいかわからないや……
なのにどうしてこの子たちは……笑顔なんだろう？

お兄ちゃんたちの仕事がこの子たちの笑顔を生み出しているのよ

兄貴……

すごい！

ところでハイチの場所はわかったの？ハイチ大地震については？

まだ調べてない

じゃあ必ず調べて返事も書かなきゃね

えっとハイチは……

カタカタ

アメリカに近いんだキューバも……ってことは野球がさかんなのかな？

ハイチ共和国

アメリカ合衆国

ドミニカ共和国

メキシコ

キューバ

ブラジル→

よく見るとブラジルやメキシコも近いなってことはサッカーが強いのかも？

わたるは
サッカー
好きなの？

はい
大好きです

……って

え？　えっ!?
だれ？　だれ!?

覚えてない？
かなりぼろぼろに
なっちゃったけど……

こんにちは！

思い出した！
ゆうきちゃんが
兄貴のために作ってくれた
お守りだ！

ダイちゃん
です！

本当はハイチに
いるんだけど……
来ちゃった！

来ちゃった！って
言われても……
なんで？

クマッ♡

だって
ハイチのことを
知りたがっている
みたいだったからさ！

COLUMN

ハイチってどんな国？

- 国　名：ハイチ共和国（Republic of Haiti）
- 面　積：27,750平方キロメートル（四国と九州の中間程度／北海道の約３分の１）
- 日本との時差：－14時間
- 気　候：雨季（４月～５月、８月～ 10月）、乾季（６月～７月、11月～３月）
- 人　口：988万人（2008年　世界銀行）
- 首　都：ポルトープランス（人口約250万人）
- 民　族：アフリカ系（約９割）、その他混血
- 言　語：フランス語、クレオール語（ともに公用語）
- 通　貨：グールド【１米ドル≒37グールド】（2007年　世界銀行）
- 主要産業：農業（米、コーヒー豆、砂糖、バナナ、カカオ、マンゴー、トウモロコシ）
  軽工業（繊維製品、軽電気、機械組立）

カリブ海に浮かぶ小さな島国。米国フロリダ半島の南東に位置する、コロンブスが発見したことでも有名な、イスパニョーラ島の西側を国土としています。「ハイチ」とは先住民族の言葉を語源として「山の多い土地」「山地･高地」を意味し、正式には1804年の独立宣言時に名付けられました。中南米の国としては初めて植民地からの独立を宣言し、最初の黒人共和国となりました。

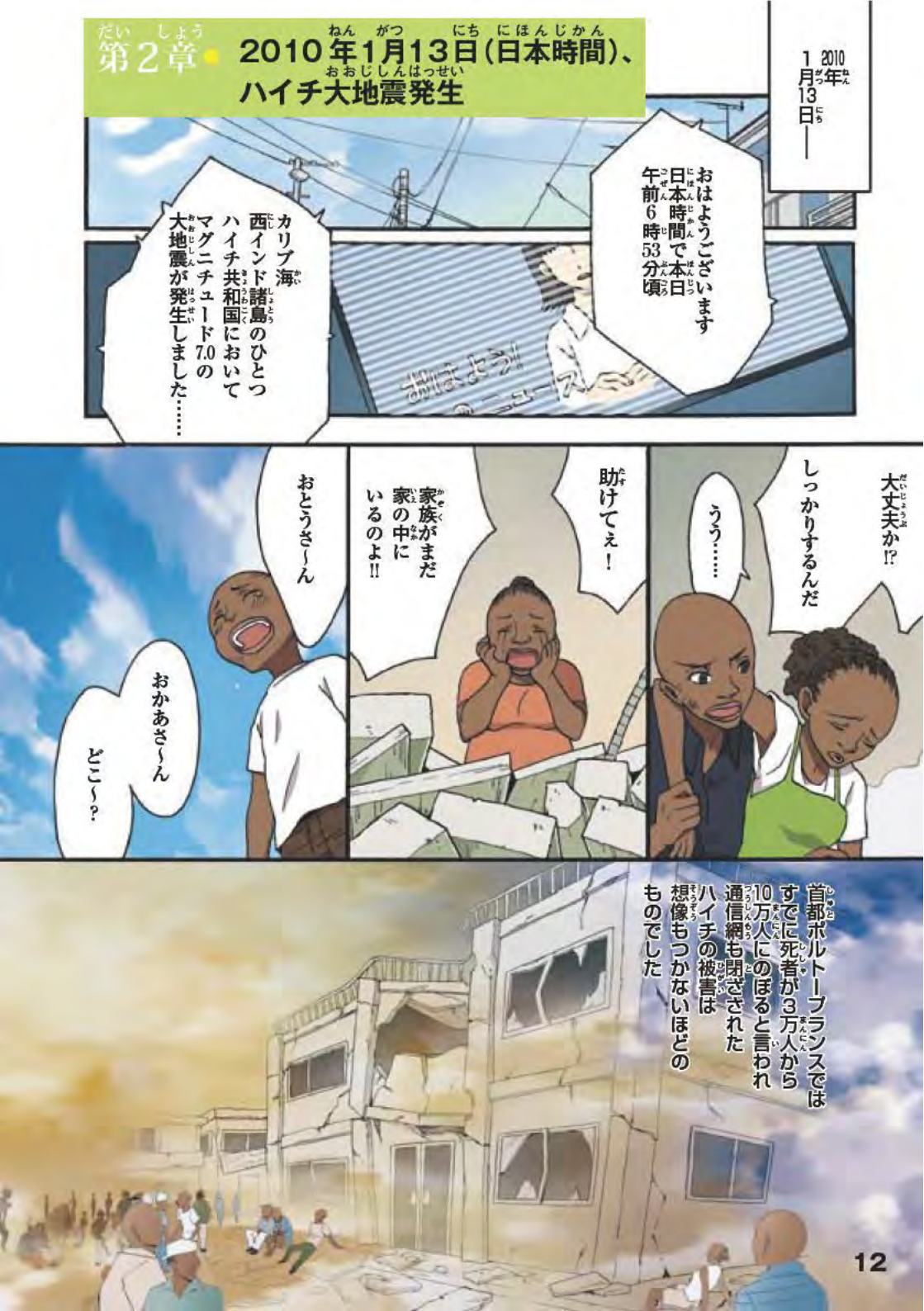
かつては、世界最大の砂糖の産地にまで成長した豊かな国でしたが、さまざまな政治的要因から、今では、西半球で最も貧しい国となってしまいました。

ハイチの国旗の意味・由来

青と赤の2色は黒人とムラート(黒人と白人の混血)の２種類の人種を表します。中央の紋章にはヤシの木と自由の帽子、大砲、弾丸、旗等が描かれており、自由と独立のための歴史を象徴しています。下に書かれている文字の意味は「団結は力なり」。

……って
ちょっと！
ものすごく
大変なことに
なっているけど
みんな
大丈夫なの!?
大変だよ
ものすごく

第2章 2010年1月13日(日本時間)、ハイチ大地震発生



1月14日

とにかく一刻も早く支援をお願いできませんか？

当然です

日本

ハイチ

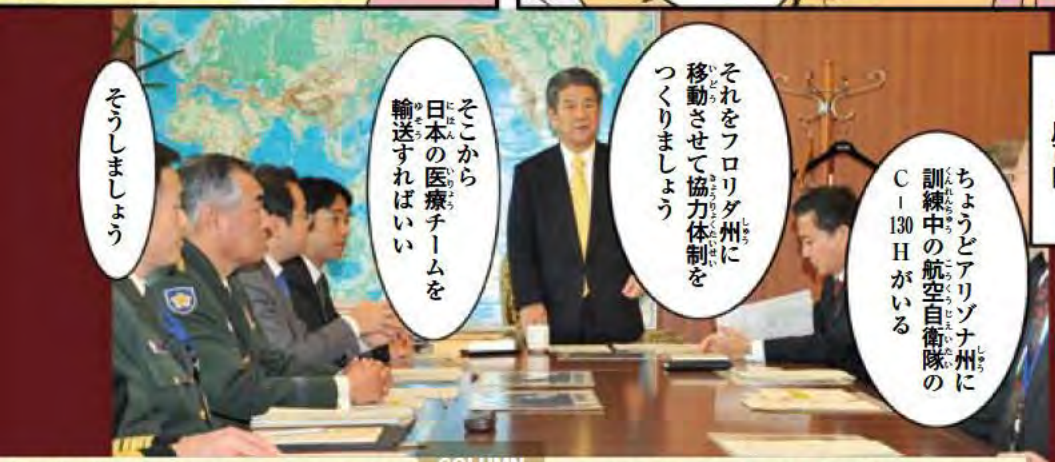
ハイチ大地震の翌日――1月14日日本はハイチに調査チームを派遣しました

……これは大変だ……

とにかく現状を本国へ至急連絡だ

防衛省から2名のほか外務省・国際協力機構（JICA）の職員が現地視察をしました。

被災したハイチの人々を救うため日本をはじめとした世界中の国々がすみやかに動き始めました



COLUMN

C-130H 輸送機について

航空自衛隊のC-130Hは、愛称「ハーキュリーズ」として親しまれ、世界各国で採用されている戦術輸送機です。国際緊急援助活動に即応できるよう、いつでも出動できる準備がなされています。

COLUMN

C-130H 輸送機の活動（現地時間）

1月15日の任務運航　①トラビス（アリゾナ州）→マイアミ（フロリダ州）

1月17日の任務運航

②マイアミ → ハイチ
国際緊急援助隊医療チームの輸送

③ハイチ → マイアミ
在ハイチ被災民34人の
米国への輸送

1月23日の任務運航

④マイアミ → ハイチ
23日、医療援助隊（第1波）
34人の輸送

⑤順次、医療援助隊要員を
ハイチへ輸送
(27日時点で、104人現地入り)

1月18日

国際緊急援助隊のメンバーは
活動場所であるレオガンに
到着すると
被災した人たちの治療を
すぐに開始しました

治療を必要とする人たちが
あまりにも多いことから
日本では自衛隊の医療援助隊の
派遣準備を開始しました

1月20日
被害が甚大な上に
長期化することが予想されたので
防衛大臣は「ハイチ国際緊急医療援助隊」の
派遣命令を出しました

1月21日
陸上自衛隊の医療援助隊隊員たちが
成田空港からチャーター機で出国
1月23日から現地で活動を開始
2月13日までの間に
のべ2954名もの患者を
診察しました

COLUMN

国際緊急援助隊とは

海外で大規模な自然災害などが起こった際に、被災国政府や国際機関の要請に応じて、日本から派遣される国際緊急援助活動を行う組織です。

昭和62年（1987年）に「国際緊急援助隊の派遣に関する法律」（通称：国際緊急援助隊法）が施行され、医療チームに救助チーム、専門家チームが加わり、現在の国際緊急援助体制の基礎が完成しました。

もともとは国際協力機構（JICA）主体で行われていましたが、平成4年（1992年）に国際緊急援助隊法の改正により、自衛隊の参加も可能となりました。災害発生から3～4週間程度を援助対象と想定しています。

レオガンでの自衛隊による診察第１号男性（左脛靭帯損傷）

自衛隊による国際緊急援助活動の考え方

1　**対象地域**：主としてアジア及び太平洋の開発途上地域

2　**要　　件**：被災国の政府又は国際機関からの要請

3　**命令権者**：防衛大臣（外務大臣との協議を前提）

4　**活動内容**：被災国からの要請の内容、被災地域の状況、被災地域において得ることが可能な支援等を踏まえ、以下の活動を行う。

① 医療活動：応急治療、防疫活動等

② 輸送活動：物資、患者、国際緊急援助隊員等のヘリコプター輸送

③ 給水活動：浄水装置を用いた給水活動

※ 上記活動に加え、自衛隊の輸送機・輸送艦等を活用した人員や機材の被災地までの輸送等を行うことができます。

5　**派遣態勢**：迅速かつ適切に活動を実施するため、所要の待機態勢を維持し、可能な限り先遣隊は派遣命令後48時間以内に出発、主力部隊は５日以内に出発。

1月19日
震災からの復旧・復興を行う必要があることから国際連合（国連）は2004年からハイチに設置していた国連ハイチ安定化ミッション（MINUSTAH）の増員を決定

国連は世界各国に対して協力を要請したんだ

1月25日
日本は国連に対し自衛隊施設部隊を派遣する意思があることを表明

1月29日には国連は自衛隊の派遣を正式に要請

そして……

2月5日
国連からの要請を受け陸上自衛隊の国連ハイチ安定化ミッションへの派遣を閣議決定

すごいね！日本は国連のお願いにすぐ対応したんだね

施設部隊っていうのは崩壊した建物のがれきを運んだり道路を舗装したりする部隊のことだよ

兄貴の仕事だ！

国連の正式な要請から約2週間でハイチへの派遣を実現したのは日本だけ！世界で一番早い対応だったんだ！

第3章 日本からハイチへ ～第1次要員の派遣～

2月6日

防衛省において隊旗授与式を挙行し
その日の夜に陸上自衛隊の中央即応連隊（CRR※[1]）を主力とする
ハイチ派遣国際救援隊第1次要員が出国しました

COLUMN

中央即応連隊について

中央即応連隊とは、国内外における緊急事態に迅速かつ的確に対応することを目的に、中央即応集団（CRF※[2]）の隷下部隊として平成19年3月に編成された部隊です。

特に、海外派遣の際に、先遣隊としての任務を任される中央即応連隊。国際緊急援助隊や、国際平和協力業務といった任務で、いつ、どこへ行ってほしいと命じられてもすぐに対応できるよう、予防接種や各種資機材の準備はもちろん、日々厳しい訓練を重ねています。隊員は全国から選抜され、全体の3割がレンジャーや空挺などの特殊技能を修得した精鋭です。

宿営地での記念撮影（ハイチ・ポルトープランス）

※[1] CRR：Central Readiness Regiment（中央即応連隊）の略
※[2] CRF：Central Readiness Force（中央即応集団）の略

すごいな

中央即応連隊って

何がすごいの？

ひょこっ！

うわっ!?

ゆうき!?なんで突然入ってくるの？

こないだ借りた本返そうと思って

おばさんがあがっていいよって……

あれ!?あなたダイちゃんじゃない！

わ～い!!ゆうきちゃん！

きゃっきゃっ

うふふ！

なんかふつうに会話してるな……

ゆうきちゃんも来たことだし

そうだっ!!現地の様子を見せてあげるよ

でも見るってどうやって……

えっ？

ぐらっ…

う

わっ!?

何これ？何もないよぼくの家は!?

キャー!?

つながっている秘密の空間！ここを通って一気に時空を移動するんだ

ここはいつにでもどこにでも

！

いざハイチへ!!

2月8日
フロリダに前日到着していた隊員たちは
そのままC－130H輸送機に乗り込み
ハイチの首都ポルトープランスに
到着しました

これは
ひどい……

地震から
すでに3週間以上
たっているのに
全然復旧の兆しが
見られない

ガタ
ガタ

ゴト…

被害はむしろ
深刻になっている

うかうかして
られんな……

我々の任務は
少しでも多くの人たちを救い
ハイチ復旧の足がかりを
つくることだ

すぐに終わるような
任務ではない

そのためにも
ここに我々の宿営地を
しっかりとつくるぞ！

はいっ！

MIYAJIMA
JAPAN
UN

ここって畑じゃない？
助けに行く立場だからって特別じゃないんだね
本当に何もない……
昼はとても暑くて夜は逆に冷え込む大変な環境なんだ
これが現実なんだ……

2月9日
おまたせしましたやっと到着しました
物資の搬送ありがとうございます
助かります
精神的にまいっている子どもたちも多いですし……
どんな感じですか？
患者が全然減らなくて……最初はけが人だらけでしたが
今では地震と関係ない病気の患者も増えてきました

でも顔を覚えたり会話できるようにもなりました

そーうそーう！

ハイチは日本車が多いせいか日本には好意的で

笑顔も見られるようになったし

地元の医療機関が少しずつ

診療を再開しているのも心強いです！

その後

現地医療機関が診療を再開しだしたことから2月12日自衛隊医療援助隊は医療活動を終結することになりました

2月17日

一方国際救援隊第1次要員は国連世界食糧計画（WFP）のコンテナなどの資材置き場の整地作業（砂利敷きなど）を初任務として実施しました

この日以降本格的な活動が始まります

2月22日

～ナデール美術館の建物のがれき除去作業

国宝級を多数含む約1万2千点もの美術品を所蔵するナデール美術館も大地震により倒壊

宿営地

洗濯はできないし臭うし あせもだらけだ……

あ～ ゆっくり風呂に入りたい……

飯もレトルトばかりじゃ少しさびしいな

ああ……

雨季になる6月までに足場もなんとかしないと！

虫もやたら多いしなぁ……

いや！

現地の人のことを思えば これでも十分なくらいだ

ここの整備も次にくる仲間のためにがんばろう！

大変だね……

同じころ第1次要員の活動を引き継ぐため第2次要員の派遣準備が着々と進められていたんだ

2月18日

第2次要員の壮行会が行われました

COLUMN

ハイチ派遣国際救援隊の概要

- 種　　類：施設部隊
- 規　　模：約350名
- 装　　備：車両約150両
- 活動内容：がれき除去、被災民キャンプ建設用地の整地、道路補修、軽易な施設建設等
- 活動地域：首都ポルトープランス周辺
- 活動期間：平成22年2月5日～平成24年1月31日

編成の概要

ハイチ派遣国際救援隊（約350名）

- **隊本部**：連絡調整・広報等 このうちMINUSTAH施設の耐震診断を実施する技官（3名）を派遣
- **施設器材中隊**：ドーザ・油圧ショベル等の大型重機主体の部隊
- **施設中隊**：マンパワー主体の部隊（ドーザ等、重機は少数）
- **本部管理中隊等**：部隊の生活基盤を整えるための部隊
- **ハイチ派遣警務班**：部隊の規律維持等（注）司法警察業務に関する指揮を除く。

主要装備

ドーザ

油圧ショベル

グレーダ

バケットローダ

COLUMN

大型輸送機アントノフ　An-225

わたる　ゆうき　ダイちゃん

ねえ、施設部隊って、がれきとか自分たちの手で片付けたの？
すごく大変そうだけど

ブルドーザーとかを日本から持ち込んだんだよ

ブルドーザー!?　あんな大きなものをどうやって運んだの？

アントノフって輸送機が活躍したんだ

平成22年2月9日、復旧・復興支援活動を行う際に欠かすことのできない、ブルドーザーやパワーショベルなどの大型重機を、成田空港から現地へ空輸しました。空輸に使用されたアントノフ An-225は、最も輸送能力の高い航空機として知られている、ロシア製の大型輸送機で、今回が初めての来日となりました。

第4章
「みんな元気です。」
～第2次要員の派遣～
3月上旬
先にハイチ入りしていた第1次要員は宿営地をはじめ活動基盤を作りながら施設活動を行い3月にやってくる第2次要員の受け入れ体制を確立していました
いよいよ活動も本格化！
もうすぐ引き継ぎね
次は兄貴が行く番だ
3月11日
あれ？あの人たちは何をしているの？
被害を受けた建物がまだ使えるかどうか診断してるんだ
日本は国連から建物に関する専門知識を持った職員を派遣してほしいという依頼を受けていたんだ
一級建築士などの資格を持った防衛省の職員3人が同行してハイチの国連関連施設40棟の診断を行ったんだよ
すごいね！
プロフェッショナルを連れていくのね

この要請に応じたのは日本だけ！
しかも
国連からの評価も高くてひっぱりだこ！
すごいね！本当にいろんな協力の方法があるんだ
見た目だけじゃ安全かどうかはわからないから専門の知識を持った人の判断がとても重要だったんだ
そのころ……
成田空港を出発した第2次要員が次々とハイチに到着しました
やっと到着したぞ
JAPAN
KOBAYASHI

3月19日

第1次要員から第2次要員へと指揮転移式が実施されました

3月24日

第2次要員は倒壊した経済財政省庁舎のがれき除去作業を皮切りにさまざまな活動を開始しました

ハイチの建物は建築基準や構造が日本とは違うから慎重に作業するんだ！

了解しました！

……

山崎
どうした？

自分は

15年前の
阪神・淡路大震災を
経験しています

！

……そうなのか

入隊した理由も
その被災経験から

だれかのために
力になれる仕事がしたい
という強い思いからでした

住んでいた家も
その周辺もすべて焼き尽くされて
何もなくなってしまって
これからどうなるんだろう
という不安でいっぱいでした

あの光景は一生忘れられません

ここでも同じことが起きたのかと思うと……

でもその経験があるからこそ自分にはハイチのみなさんに格別の心づかいができるんじゃないかと思ったんです

笑顔をもたらしたい

この地で本当にひとりでも多くの人に新しい未来を見つけてほしいんです

そうだな……

1分でも1秒でも早く……ハイチが今までよりもっとすばらしい国になるよういっしょにがんばろう

……はいっ！

あ！
こらっ！あぶないぞっ！
アブ…ナイ？
（遊ぶならあっちで遊びなさい）
（ごめんなさい）
よし！あとでいっしょに遊ぼう！

壊れた建物のがれきの除去や解体だけでなく輸送に必要となる道路の修理やハイチの人々が暮らすキャンプの整備などいろいろな活動を行ったんだ

みんなまだ家には帰れないの？

160万人以上の避難民がいるんだ無理だよ

160万人……!?

電気も水も通ってないし

なんとかしなきゃ！

兄貴たちこんなにがんばっているのに……

4月中旬

ここの作業も一段落だな

やっと終わりますね

当初のがれきの山がウソみたいだ

守ったり助けたりって簡単なことじゃないんだな……

また新しい建物が建っていくんですね！

みんなのおかげだ本当に

ヤマザキ！

ん？

コンニチハ！ヤマザキ！

おっ！どうした？

山崎がいつも遊んであげている子どもか

これは……

アリガト
ヤマザキ
アリガト
それはこっちの
せりふだよ
何を言ってるんだ
山崎
よかったじゃないか
ええ
本当に……

COLUMN

国立シグノ結核療養所

わたる　ゆうき　ダイちゃん

ハイチのマザーテレサって呼ばれている日本人を知ってる？

日本人で……？

私知ってる！　ハイチで長い間慈善活動を続けていらっしゃる女性でしょ？
テレビで見た！

うん。須藤昭子さんって言うんだ

その人がどうしたの？

須藤さんが活動の拠点にしていた国立シグノ結核療養所も、
この大地震で壊れてしまったんだ

え……須藤さんは大丈夫だったの？

須藤さんはたまたまその時日本に帰国していて、無事だったんだよ

よかった。だけど療養所がなくなってしまったら、
そこで治療していた人たちが大変だ

患者さんたちは移動してもらって、日本と韓国で協力して
建物とがれきの除去を行ったんだ

建物をつくり直すにしても、壊れた建物やがれきを
どかさないと何もできないもんね

そして、須藤さんは今ハイチに戻って活動を再開しているよ

須藤昭子さん

国立シグノ結核療養所

須藤昭子さんブログ 「シスター須藤昭子　ハイチの話　http://aosud.blog111.fc2.com/」

5月下旬まで
約2か月にわたり
首都ポルトープランスと
ドミニカ共和国を結ぶ
道路の補修作業も
実施しました

特に韓国工兵中隊との交流は深かったよ

韓国は近い国だし

日韓で協力して6月から学校の解体作業を共同で行ったんだ

日本は主にダンプカー韓国は油圧ショベルで作業をしたんだ

分担して作業したんだね

6月
カルフール地区の学校解体及びがれき除去作業

おーい パクさん こっちは終わったよ

こっちも終了！

みんなでやると早いな～

7月7日

約1か月にわたる作業が終了し学校関係者を招いて終了記念行事を日韓共同で行いました

ハイチの人々との交流を促進するために
3回の文化交流も行ったんだ
地元の人たちと書道や茶道といった
日本の文化をいっしょに楽しんだんだよ

どうした？

あ……落としちゃったんだ お恥ずかしい

ぎゅっ…

珍しいのかないいよあげるよ

自分にはもう必要ないから

小隊長！

みんなで写真撮りますよ～

パシャ

COLUMN

第１次要員と第２次要員の展開のまとめ

第1次要員の展開

ハイチ地震災害の復旧支援という性格から、迅速な展開を実施。緊急展開が可能な中央即応連隊を主力とする要員（約200名）を第1次要員として派遣。第1次要員は現地到着後、すみやかに施設活動を開始しつつ、宿営地の造成を実施しました。

第2次要員の展開

活動の主力となる北部方面隊では、装備の緊急取得、緊急整備等により、準備期間を短縮。輸送機・民間船舶のチャーターにより、命令発出後、20日あまりで現地に向けて展開を開始。3月19日から第1次要員と交替し、本格的な施設活動を実施しました。

ハイチ大地震発生からの流れ（日本時間）

1月13日	ハイチ大地震発生
1月14日	水や食糧、テント等の緊急援助決定
1月18日	国際緊急援助隊・医療チームが活動を開始（～25日）
1月23日	自衛隊の医療援助隊（医療部隊）が活動開始（～2月13日）
1月25日	ハイチに関する閣僚級会合、自衛隊の国連ハイチPKOミッションへの派遣等を表明
2月 5日	「ハイチ国際平和協力業務実施計画」等について閣議決定
2月17日	国際救援隊第1次要員が、国連世界食糧計画（WFP）の資材置き場の整地作業等を初任務として実施
3月19日	第1次要員から第2次要員へと指揮転移

COLUMN

阪神・淡路大震災とは

1995年1月17日、淡路島北部（あるいは神戸市垂水区）沖の明石海峡を震源として、午前5時46分52秒に発生した、マグニチュード7.3の大規模地震災害でした。特に兵庫県淡路島、神戸市、芦屋市等を中心とした阪神地区等に、甚大な被害を与えました。

横倒しになった阪神高速道路（兵庫県神戸市東灘区）©時事

阪神・淡路大震災を経験して、第1次要員としてハイチへ行った中央即応連隊本部管理中隊姫井3曹にお話を聞いてみよう！

ゆうき　わたる　姫井3曹

姫井さんは何歳のときに被災されたんですか？

君と同じ、小学校6年生で、12歳。被災した場所は自宅です

お家は大丈夫だったんですか？

いいえ。家を含めて住んでいた集落が全焼して、がれきと焼け跡で何もない状態になってしまいました。場所が神戸市兵庫区と、震源地から近い場所だったので、被害はとても大きかったです

被災後はどうされたんですか？

両親は被災後の整理のために現地に残って、私は兄弟と、鳥取県にいる祖母の家に半年ほど預けられました。鳥取から神戸に戻っても、まだ自衛隊員ががれきの除去を行っていましたね。住んでいた場所は、自分の家がどこだかわからないくらいきれいな更地になっていました。戻って、しばらく離れていた友だちと会えたのはうれしかったな。幸いにも私の周りでなくなった方はいなかったので

もしかして、この経験が今のお仕事につながっていたりするんですか？

そうです。被災経験が今の仕事のきっかけです。人のために力になりたいと。今回ハイチへ行ってみて、そうした気持ちが形になったと思います。状況も似ていると思ったし、被災された方々の気持ちもよくわかるので、彼らとも積極的にコミュニケーションをとりました。顔を合わせるたびに「ありがとう」「がんばってください」と言われて、改めてこの仕事へのやりがいも感じたし。ただ支援するんじゃなくて、人と人のつながり ―コミュニケーションが自分の中では非常に大きなウエイトを占めた気がします。物資の支援も重要だけど、そこにいる人たちの気持ちを考えることも、とても大切だと本当に思いました

人と人のつながりか……

実際に、ハイチの国だけでの復興というのは難しくて、本当にいろいろな国の人々の助けが必要であることを実感します。お互いを理解した上で相手を気遣うことが支援だと思いますし、日本人としての誇りをもって、日本人だからこそできることもあると思っています。みなさんも、相手を思いやりながら、身近なことからどんどんやっていってほしいですね

わかりました！　がんばります！

一夜明けてもなおくすぶり続ける倒壊家屋（兵庫県神戸市兵庫区）©時事

8月7日
宿営地のコンテナハウス化の工事がほぼ終了し落成式が行われました

やっとここまで来たな！
最初はひどかったらしいぞ
雨が降ったら足場はドロドロだったとか
洗濯もできないしあせもだらけだったってな

それでもこれはまだ通過点にすぎない……
兄貴……ハイチに行って随分たったよね
うん 8月には90日以上国連のミッションに携わった人を讃えてメダルが授与されたんだ

8月9日

メダルパレードが開催され
ミュレ国連事務総長
特別代表をはじめとした

多くの方々から
祝福を受けるとともに
全隊員がメダルを
授与されました

これで
活動は終わり？

まだまだ
むしろ
これからだと
思う

……震災以来
ハイチや
MINUSTAHが
直面してきた困難な期間

諸官は明らかに
その献身と努力により
この表彰を勝ち得ました

ハイチ国民と
国連はこの6か月以上にわたり
諸官が行ってきた
人道支援活動に対し
深く感謝する次第であります

8月18日

お疲れさまでした
これから
我々の番ですね

お待ちして
おりました

第3次要員が第2次要員の
作業引き継ぎのために
ハイチに到着しました

俺たち
第2次要員も
帰る時期か……

あっという間だったな

第2次要員が帰ってくるってことは……

本当？

わたる！お兄さんのひろきにももうすぐ会えるよ

やった～！

いろいろとありがとう！

す……

ダイちゃんぼく……

あれ？

……ダイちゃん？どこ？

8月19日

第3次要員の第一波の到着と入れ替わりで第2次要員の第一波が新千歳空港に帰ってきました

そして8月31日残りの第2次要員が無事帰国しました

兄貴はどこ？どこ？

ほんとどこかしら？

ガヤ

ガヤ

ガヤ

ガヤ

あ！出てきたみたい！

ただいま！
お帰(かえ)りなさい！

数日後

さすが日本少しずつ涼しくなってきたな

ハイチの暑さと比べたら日本は涼しいよね

お！

よく知っているな！勉強したのか？

ねえ兄貴ハイチは今どんな状況なの？

まだまだいろいろ大変だ俺たちの仲間ががんばっているところだよ

正直かなり厳しい

これからだって何が起こるかわからないし

ぼくらと同じくらいの子たちがたくさん犠牲になって生活だってまだまだ厳しい状況なんだよね

兄貴……
今まで
ぼくは

自分の身のまわりのことしか
知らなかったけど

この世界には
たくさんの人がいて
ぼくはその中の
ひとりなんだよね

こうやって
ふつうに生活している
ことだって

当たり前のこと
なんかじゃなかった

世界中の人たちの平和を
思う気持ちや活動に
支えられていたんだ

ぼくたちの笑顔も

いつもだれかに守られていたんだね

それが兄貴の仕事なんだよね

そうだよ

ぼくにもできるかな？兄貴みたいな仕事！

……現実は厳しいぞ～！

その前にわたるは自由研究の発表を無事に終わらせないとな

大丈夫だよ～！

COLUMN

兄から弟へ。
双子の陸上自衛隊員が、ハイチで任務を引き継ぎました

2010年3月9日、北海道出身の双子の陸上自衛隊員が、ハイチの首都ポルトープランスで展開されている陸上自衛隊国際救援隊（PKO部隊）の宿営地で再会を果たし、第1次要員から第2次要員へ、任務をバトンタッチしました。

先にハイチに入っていたお兄さんの松山将洋さんは、「ようこそハイチへ」と、弟である松山貴泰さんを迎え入れ、再会のわずかな時間を楽しみました。

国旗掲揚塔の前で兄弟対面

松山将洋3曹
（中央即応連隊／ハイチ派遣国際救援隊第1次要員）

今回、弟も参加するという話を聞いたときは、双子で同じ場所へ行くという例を聞いたことがなかったので正直驚きましたが、非常に心強くも思いました。国内でも、直接会う機会があまりない弟と、現地で会ったときは、ほっとしましたし、自分から「ようこそハイチへ」と声をかけました。仕事の現場で会う機会もなかなかないですしね。弟の帰国時は「ごくろうさん」とメールしました。まだ帰国してからお互い顔を見ていないので、早く会いたいと思っています

松山貴泰3曹
（第12施設群／ハイチ派遣国際救援隊第2次要員）

兄が現地へ向かう数日前に自分もハイチへ行くということを知り、兄弟で行くとは思っておらず驚きました。兄と現地で会ったときは、久々に会ったにもかかわらず、交わした会話は思ったよりも普通の会話でした。ただ、兄と会ったことで、兄たちがやってきたことを、自分たちが引き継いで、次の部隊につなげていけるよう、気持ちをさらに引き締めて任務にのぞむことができました

お二人はどうしてこのお仕事をしようと思ったのですか？

母からの勧めがきっかけで、体も丈夫だし自分に向いているなと

国を守りたい、世界が平和であってほしいという強い思いからです

ハイチの任務で印象に残ったことはありますか？

現地の被害は、想像以上に深刻で、その光景には衝撃を受けました

現地の人々は我々が復興支援のために来ていることを知っていて、とても友好的でした

ぼくたち子どもに向けて、何かメッセージをいただけますか？

帰国して日本はいろいろと恵まれているなと思いました。何事にも一生懸命取り組めば、結果はちゃんとついてくるから、がんばってほしいです

国を守る、支援するということを考えたときにどうしても自分目線になりますが、今回の経験を通じて、やり方にはいろいろあって、それがつながって結果が出ると思いました。そうした視点をみなさんにもぜひ持ってほしいです

わたる　ゆうき　兄　弟

隊員の1日
糧食班の朝は早い
ハイチでの隊員たちの一日が始まる
おはようございます
おはようございます
みんなそろって自衛隊体操
その日の任務をお互いに確認したあとそれぞれの業務が始まります
今日も一日がんばるぞ！

施設中隊・施設器材中隊
建物の解体や敷地造成、道路・橋りょう補修、がれき除去などの作業、宿営地の整備等を行います
派遣警務班
宿営地内の秩序維持や交通統制等を行います
対外調整所
宿営地を訪れる人々の窓口です
警備小隊
治安は比較的安定しているとはいえ、宿営地の警備を担当し、安心して生活し、翌日の活動に備えることができるよう、油断なく勤務を続けます

火器車両整備班

車両を常に動くことができる
状態にしておくため
毎日の整備が重要です

施設整備班

まめに発電機等のオイル交換等
さまざまな器材の整備を行います

通信整備班

通信機材は熱やほこりに弱いため
こまめに整備を行います

通信班

衛星通信回線を開設し
本国とのリアルタイムでの
やりとりを可能にしています

補給班
生活に欠かすことのできない水や
燃料の受け取りを行います
当初は言葉が通じないこともあり
調整に苦労しました
需品サービス班
毎日の洗濯作業、浴場準備等
燃料タンク車による給油等を担当します
衛生班医務室
患者受け入れ態勢を24時間とり続け
宿営地内で発生する害虫の駆除や
消毒活動も行います
広報
国内外の報道機関に対する
取材対応を実施します
現地での隊員たちの活動を記録します
通訳
さまざまな業務をこなす中で現地の
人ときちんとコミュニケーションを
かわす上で一番重要な役割を担います

糧食班

隊員の一番の楽しみである食事をつくります
日中は40℃を超える宿営地の中で一番暑い場所となりますが真心をこめてつくります

献立例

・さんまの塩焼き
・おひたし
・豚肉のしょうが焼き
マカロニサラダ

おいしそうゥ

宿営地にラッパが鳴り響き一日の仕事が無事終了となります

やっぱりカレーはうまいなぁ！

これが一番の楽しみです

任務が終わってみんなで夕食をとったあとは

隊員たちは思い思いにそれぞれの時間を過ごします

俺はちょっと走ってこよう

ぼくは読書

日本の家族とパソコン通信

家族から贈り物が届いたぞ～！

お風呂もあるんだよ

一日の疲れと汚れを落とします

こうして自由な時間を過ごしたあと明日に備えて就寝します

隊員さん明日もがんばってね！

＊おまけ＊

散髪は業務時間内の休み時間の中で隊員同士で行います

切り過ぎたら坊主にしちゃいますすぐに伸びるしね

第6章 日本を守る、世界をつなぐ ～「まもるお仕事」～

超かわいい～
みなみさんは彼氏とかいるんですか～？
こらっ！
制服かっこいい！
それでは順番にそれぞれ発表を始めてください
ぼくたちが調べたのは……
私たちは毎日の生活の中で……
ガタッ
はいよく発表できました
では次のグループどうぞ
はいっ！

私たちが調べたのは自衛隊の国際平和協力活動についてです

記憶に新しいところでは

今年の1月

ハイチという国で大地震が起きました被害がたくさん出て日本は急いでハイチの人々を助けに向かったんです

先月までぼくの兄も現地に行っていましたハイチは日本からは遠い国です飛行機で18時間もかかります

「困ったときはお互いさま」ってぼくの母さんはよく言いますが

世界で困っている人がいる時には世界中の人々が助けに行きます

自衛隊では海外で平和を守るための活動を行ったり大きな災害があった国に出かけて

救助活動を行ったりして世界の人々のために役立つ仕事をしています

自衛隊は地震発生直後からハイチに入り医療支援などの国際緊急援助活動を行いました

それを国際平和協力活動と言います

自衛隊の行っている国際平和協力活動には国連PKOと呼ばれる「国連平和維持活動」や「国際緊急援助活動」などがあります

国際平和協力法について

1992年（平成4年）、「国際連合平和維持活動等に対する協力に関する法律」（国際平和協力法）が制定され、以来、国際連合（国連）を中心とした国際平和のための努力に対して、数々の協力を行ってきました。

この法律は、我が国の国際平和協力として「国連平和維持活動（国連PKO）への協力」、「人道的な国際救援活動への協力」、「国際的な選挙監視活動への協力」の3つの柱を掲げるとともに、いわゆる参加5原則に従って活動を行うべきことを定めています。

参加５原則

1. 停戦の合意が存在している
2. 受け入れ国などの同意が存在している
3. 中立性を保って活動する
4. 上記１～３の原則のいずれかが満たされなくなった場合には一時業務を中断し、さらに短期間のうちにその原則が回復しない場合には派遣を終了させる
5. 武器の使用は要員等の生命または身体の防衛のために必要な最小限度に限る

国連平和維持活動とは…

国連PKO
(Peacekeeping Operations)

世界各地における紛争解決を目的として、国際社会の平和と安全を維持するため、国連の決議に基づき、国連のもとに行われる活動です。

その活動の意味がわからないよ

えっと……

要は世界の平和を守るために現地でいろいろなお手伝いをしたり

生活に必要な物資や食料を運んだりするってことです

地震じゃなくてもそんなことするの？

地震の前にハイチではどんなことがあったの？

ハイチは

もともと貧しい国で政治情勢や治安がよくありませんでした

それで国際的な支援が必要となってハイチの安全かつ安定的な環境の確保を主な任務とする……

原稿を棒読みしすぎ！

え～っと……国際連合ハイチ安定化ミッション（MINUSTAH）が設立されました

もともとあったその活動の中に今回のハイチ大地震の支援活動が加わったというわけです

でもハイチが大変なことになって日本だけじゃなく

世界中のみんなが助けに行ったんだたったひとつの国のために……

どうしてだろう？

え!? あたしに聞かれても……

今回のハイチみたいに災害にあって困っている人たちを守る……

だれもが暮らしやすい環境を守る一人ひとりの人権を守る……とかいろいろな形の「まもる」があってそのひとつひとつが「平和」へとつながっているの

「まもる」ってことにも本当にいろんな意味があるんだね
ぼくたちが自分自身を守ることもそうだし家族が守ってくれることもそうってこと？
それがどんどん大きくなってだれかがだれかを守って世界中の人々を守ることにつながっていく
私が所属する防衛省も「まもる」という仕事が日本にとってより重要になるにしたがい大きく成長していきました

それだけ「まもる」っていうことが大切なことなのね

みなみさん質問！

防衛省と兄貴がいる陸上自衛隊は同じところ？

同じ組織ですよ

やっぱり！

みなみさん

もっとくわしく教えて！

陸上自衛隊
海上自衛隊
航空自衛隊の3つがあって

まさに陸海空から日本を守っているのよ

私たちの仕事は日本の防衛に始まり災害などのさまざまな事態への対応そして国際社会の平和と安定をめざすために活動することです

だから
ハイチってどんな国？
って思ってしまうくらい
日本からは
遠いけど……

でも
大変だからこそ
急いで
助けに行くんだ！

うん！

それが
私たちの仕事

世界の平和と安全を守ってこそ
それぞれの平和と安全を守ることができる
だからこそ国際社会がお互いに協力して
活動することが重要なの

現在
自衛隊は
ハイチでの活動を含めて
4つの国連ＰＫＯに参加して
活動しているのよ

みんなで
日本と世界を
守っていく
お仕事なんだね

COLUMN

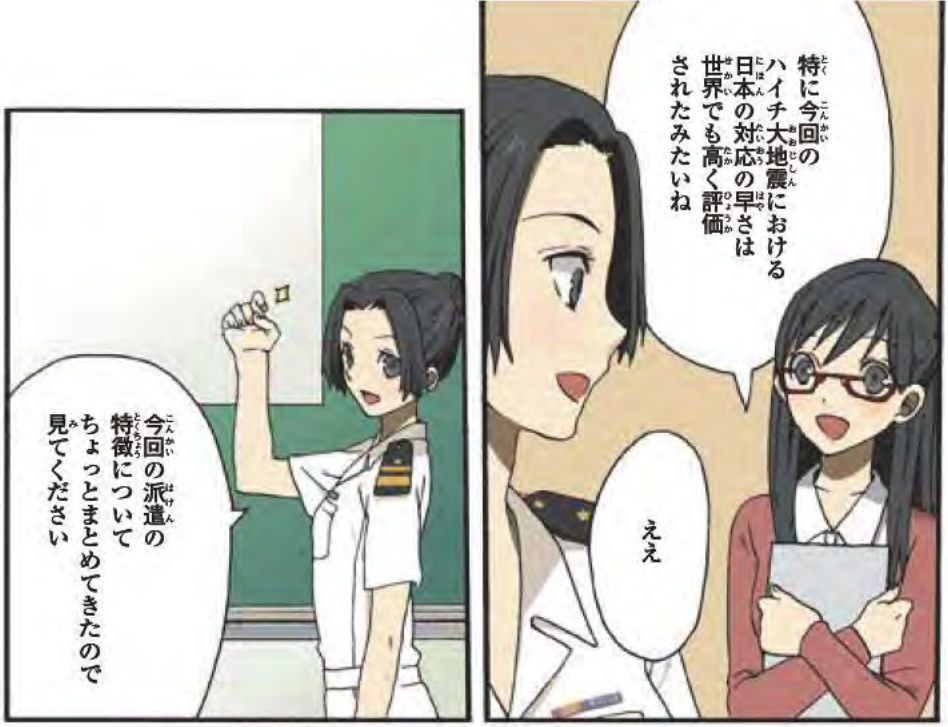
自衛隊が参加している国連PKO

名称 国連兵力引き離し監視隊（UNDOF：アンドフ）
期間 平成8年2月～
規模 輸送部隊　43人
司令部要員　3人
活動内容 食品等の輸送
倉庫での物資の保管、道路等の補修、重機材等の整備

名称 国連ハイチ安定化ミッション（MINUSTAH：ミヌスタ）
期間 平成22年2月～
規模 施設部隊　約330人
司令部要員　2人
活動内容 がれき除去、
難民キャンプ建設用地の整地等

名称 国連スーダン・ミッション（UNMIS：アンミス）
期間 平成20年10月～
規模 司令部要員　2人
活動内容 軍事部門の兵站全般の需要に関するUNMIS部内の調整
UNMISにおけるデータベースの管理

名称 国連東ティモール統合ミッション（UNMIT：アンミット）
期間 平成22年9月～
規模 軍事連絡要員　2人
活動内容 国境監視所や、村落等における治安情勢等の情報収集



今回の派遣の特徴とは

今回のハイチPKOへの自衛隊派遣は、国際緊急援助隊の派遣に引き続き、同じ地域にPKO部隊（ハイチ派遣国際救援隊）を派遣した初めてのケースでした。

特に、これまでのPKO派遣には要員の選抜や予防接種、必要な装備の調達などに一定の時間を要することから、数か月の準備期間をかけており、今回のように、国連の正式要請から約2週間という、極めて短期間で派遣できたものはいまだかつてありません。今回のハイチ大地震によるPKO部隊で、工兵部隊（施設部隊）として最初にかけつけたのは、日本が最初の国でした。

このような早期派遣が可能となったのは、これまで積み重ねられてきた海外派遣の経験や、平素から迅速な派遣のための訓練や予防接種などの事前準備を行っている陸上自衛隊中央即応集団から派遣部隊を編成したことなどが挙げられます。

短期間での派遣を可能とした要因

- 他省庁や国連等、関係機関との密接な連絡・協力体制を構築
- これまで蓄積してきたノウハウを活かした訓練
- 常に事態に即応する隊員の高い士気と責任感
- 陸上自衛隊中央即応集団（特に先遣隊を担う中央即応連隊）の新編
- 方面隊等による指定・待機態勢（方面隊ごとのローテーション）の維持
- 統合運用体制における陸・空自衛隊の協力（米国で訓練中の空自C-130H輸送機を米国からハイチまで陸自派遣部隊の展開に活用する等）

そういえば……

自衛隊が派遣される前に

お医者さんがまずハイチに向かったと思うんだけどそれも同じ活動？

するどい！よく知ってるね

それも「国際緊急援助活動」と言います

災害が起きて現地にいる人々を少しでも早く助けるために

JICA（国際協力機構）の医療チームが自衛隊の派遣部隊に先駆けて活動していたの

そしてそのあとを引き継いだのが自衛隊の国際緊急援助隊というわけ

日本が世界を守る
そうすることで
ぼくたちも守られている

世界のだれもが
「平和」っていう
目標に向かって
いつもお互いを
助け合っているんだ！

これで
ぼくたちの
「平和」についての
発表を終わらせて
いただきます

わーっ

パチ
パチ
パチ
パチ
パチ

わたるくんの
お兄さんにも
ぜひお話を
聞いてみたいわね

もちろんっ！
みんなに関心を
持ってもらえたら
兄貴も喜ぶよ！

ちょっと
発表内容が予定と
変わっちゃったけど
まぁいいか！

COLUMN

国連ハイチ安定化ミッション
(MINUSTAH：United Nations Stabilization Mission in Haiti)

もともとハイチでは国内の政治情勢が不安定で治安情勢も悪化していたため、1990年代から国連PKOミッションを通じた活動が展開されていました。2004年（平成16年）には、ハイチの安全かつ安定的な環境の確保を主な任務とする国際連合ハイチ安定化ミッション（MINUSTAH）が設立されました。

2010年（平成22年）1月13日（日本時間）、首都ポルトープランス近郊で大地震が発生したため、国連安保理は、地震被害による事態の深刻さと緊急の対応の必要性から、緊急の復旧、復興及び安定化に向けた努力を支援するため、ハイチに展開しているMINUSTAHの要員の増員を決定し、加盟国に対し要員の派遣などについて要請を行いました。

これに対して、日本は既に派遣していた国際緊急援助隊に加え、さらなる人的貢献を行うため、1月25日に、国連に対し、同ミッションへの自衛隊施設部隊の派遣を行う意思がある旨を伝えました。

その後、国連から自衛隊施設部隊の派遣を喜んで受け入れる旨の回答があったことから、陸上自衛隊の部隊（約350名）が派遣されることになりました。

国連は、ハイチ大地震を受けて、その復旧や復興、安定化に向けた努力を支援するために、ハイチに展開しているMINUSTAHの増員を決定して、国連加盟国に対して要員派遣の要請を行ったってわけだ

それに日本はこたえて、すぐに兄貴が所属する施設部隊の派遣の意思を表明したんだね

日本がどれだけ世界の平和のことを考えているかってことが伝わるよね

第7章 エピローグ
～いつか、また会えることを夢見て～

11月

11月16日
日本政府は国際平和協力法に基づき
支援活動を行う自衛隊の派遣期間を
2012年1月31日まで約1年2か月
延長することを決定しました
またハイチ国内でコレラの感染が
広まっていることを受け
業務に防疫を含む
医療活動が加えられました

おはよう！
寒くなってきたね～
あ
おはよう！

ハイチでの
支援活動が
延長されたね！
知ってる
けど……
よく知ってるね？

知らないことが
多すぎるのよ
もっと知らなくちゃ

当たり前よ！
こうやって
暮らしてること自体
だれかに支えられて
いるんだなって実感したの
……なんか
らしくないなぁ

ぼくもそれは思った！

私は将来みなみさんみたいになりたいな

そしてひろきくんのお嫁さんになるの

……それは

無理じゃない？

なによそれ！

ぼくはやっぱり兄貴みたいになりたいな

そして日本を守って世界の人も守りたい！

じゃあこれからいっぱい勉強しないと……

何母さんみたいなこと言うんだよ！

そうだ！

これわたるにあげる

……これって！

新しいダイちゃん！

最初のダイちゃんと
いつかハイチで会えると
いいなって思って作ったの！
いつか会える気がするんだよね

いつかハイチで……

よ～し

がんばるぞぉ!!

ハイチでは現在もなお
日本による
国際平和協力活動が
続いています

COLUMN

ハイチでの最近の活動状況

マルパセ孤児院施設の建設

平成22年11月より建設を行ってきた、首都ポルトープランス近郊にあるマルパセ孤児院施設の児童寮と倉庫が完成し、平成23年1月25日（現地時間）、引き渡し式が行われました。

マルパセ孤児院はもともと男子用でしたが、地震で倒壊した他の施設から女児を受け入れたことから、孤児院側より男子と女子を分けた居住スペースと倉庫の建設が望まれていました。自衛隊は、このような要望をもとに、自主的に建設を国連に提案し、約3か月の期間をかけて完成させました。自衛隊が建物の基礎工事から携わるのは初めてのことで、この事業には、QIPs（クイップス）と呼ばれるプロジェクトを活用しました。

引き渡し式のあと、慰問品の贈呈に続き、孤児院を代表して、ボナム・シャーリーさん（14才）からお礼の言葉をもらいました。

QIPs（Quick Impact Projects）事業とは

国連PKOの円滑化、イメージ向上等につながる活動に国連が予算を支出するプロジェクトをクイック・インパクト・プロジェクト（QIPs）と言います。こうした取組は自衛隊の成果を長く現地に残すことができ、ハイチ国民にとっても日本の支援としてわかりやすいものです。また、活動を実施した部隊にとっても、こうした新たな挑戦によって練度や士気が向上するという効果も期待できます。

マルパセ孤児院孤児代表謝辞

私たち孤児は、もともと、学校に行くこともできず、遊ぶこともできず、疲れた生活を送っていました。料理や洗い物などの家事を強制的にさせられたり、道ばたで物を売ったり、みんなとは違う生活の犠牲者でした。

そんな私たちは、いわゆる見捨てられた子どもで、感動したり、人を理解したり、だれかを尊敬したりすることはありませんでした。ただただ、自分たちが生き延びるために、そして、大人になるために労働を強いられてきたのです。

2010年1月12日の地震で、被災をし、孤児になった子どももいます。

そんな私たち全員で、声を揃えて皆さんにありがとうと言いたいです。

臨時代理大使の南さん、日本隊の佐々木さん、そして、この工事にかかわった全ての日本の人々から、私たちは愛情や理解、信頼というものを与えていただきました。

このような、とても奇麗な、女子のための居住施設と倉庫の建設を引き受け、そして丁寧につくっていただけたことに本当に感動し、愛情と信頼を強く感じました。

本日参加していただいた皆さんにこうして囲まれていますと、多くの方々の存在に支えられていると実感します。

この新しい居住施設・倉庫、そして皆さんを目の前にした今、心から、「私たちは明日への希望だ」と言うことができます。

本当に、心から、ありがとうございました。

1月25日　マルパセ孤児院　孤児代表
ボナム・シャーリー

COLUMN

防衛白書とは

「防衛白書」とは毎年防衛省が編集する政府刊行物で、日本の防衛政策や、1年間の防衛省・自衛隊にかかわる主なことがらを記載しています。

より多くの方々に防衛省・自衛隊の「ありのままの姿」を伝えるべく、日本の防衛を考える際の資料として、さまざまな情報を提供できるよう、写真やコラム、図表等を多く採用し、日本の安全保障を考える上で重要な事項をわかりやすい言葉で伝えるとともに、日々の任務に励む隊員の生の声や、防衛省とかかわりの深い方々の声を取り上げています。

主な内容（目次より抜粋）

第Ⅰ部　わが国を取り巻く安全保障環境
　第１章　国際社会の課題
　第２章　諸外国の国防政策など

第Ⅱ部　わが国の防衛政策の基本と防衛力整備
　第１章　わが国の防衛の基本的考え方
　第２章　防衛大綱と防衛力整備

第Ⅲ部　わが国の防衛に関する諸施策
　第１章　自衛隊の運用
　第２章　日米安全保障体制の強化
　第３章　国際的な安全保障環境の改善
　第４章　国民と防衛省・自衛隊
　第５章　防衛省改革

平成22年版　日本の防衛　防衛白書
防衛省編集

わたる　ゆうき

ハイチ国際緊急援助隊やハイチPKO（ハイチ派遣国際救援隊）に実際に参加した隊員の方々のお話やぼくたち子どもからの質問に答えてくれるコーナーもあるんだよ。すごいね

どんなことをしたいかとか、隊員のみなさんのこととか本当に詳しく書いてあるね！ 自衛官の募集要項もあるわ！

URL http://www.mod.go.jp/j/publication/wp/index.html
（ホームページから見ることもできます）

平成22年版
まんがで読む防衛白書
～ハイチにおける国際平和協力活動～

2011年3月 第1刷発行

作　　画：松山セツ
シナリオ・編集：吉岡佐和子
着　　色：DECO、陽向ニイヤ
装　　丁：岡村デザイン事務所
発　　行：防衛省
〒162-8801 東京都新宿区市谷本村町5番1号
TEL 03-3268-3111（代表番号）
FAX 03-5269-3270
ホームページ http://www.mod.go.jp/
制　　作：株式会社少年写真新聞社
〒102-8232 東京都千代田区九段北1丁目9番12号